

27 あいちトリエンナーレ、国民文化祭、障害者芸術・文化祭の開催に対する支援について

(財務省、文部科学省、厚生労働省)

【内容】

- (1) 平成28年の開催が3回目となる「あいちトリエンナーレ」は、国内最大規模の国際芸術祭であり、我が国の文化芸術を牽引し、世界の文化芸術の発展に貢献するとともに、地域の活性化にも大きく寄与する取組であることから、継続的な支援を行うこと。
- (2) 「第31回国民文化祭・あいち2016」及び「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」を円滑に開催し成功に導くため、開催地と一体となって万全な準備を進めるとともに、開催に必要な経費について、十分な予算を確保すること。
また、国民的なイベントとして盛り上げるため、広報を充実強化すること。

(背景)

- 本県では、平成22年より、現代美術を基軸とし、舞台芸術なども併せて展開する国内最大規模の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を3年ごとに開催しており、現代美術の国際展のクオリティの高さとともに、舞台芸術との複合性や、まちなかでの展開、普及・教育事業など「愛知の独自性」を活かした展開は国内外から高く評価されてきた。
- 平成28年に開催する、3回目の「あいちトリエンナーレ2016」では、芸術監督に多摩美術大学教授の港千尋氏を迎え、「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」をテーマに掲げ、新たな視点による魅力的な展開を図るとともに、国際的な発信力を高め、海外誘客に向けた取組をより積極的に展開していく。
- 世界に誇るべき「文化芸術立国」の実現をめざす国は、世界の様々な国と地域から多様なジャンルのアーティストが集い、新たな芸術を国内外に向けて創造・発信する「あいちトリエンナーレ」を継続的に支援し、我が国の文化芸術の水準と国際的評価の向上を図る必要がある。
- また、愛知県が平成28年度の国民文化祭及び障害者芸術・文化祭の開催地に内定したことから、本県では、平成27年2月20日に愛知県実行委員会を設立し、現在、開催の準備を進めている。
- 「あいちトリエンナーレ2016」、「第31回国民文化祭・あいち2016」、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」を連続的に開催し、これまでにない多彩な展開を創出するとともに、現代アートから伝統文化、そして障害者アートまで、豊かな文化芸術活動・取組を大いに発信することで、文化芸術を起爆剤として、地域の魅力と活力の高揚を図り、地域の活性化につなげていく。

(参考)

◇あいちトリエンナーレ 2016 の開催概要

- (1) テーマ
虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅
- (2) 会 期
平成 28 年 8 月 11 日から 10 月 23 日 (74 日間)
- (3) 会 場
愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか
豊橋市内、岡崎市内
- (4) 主 催
あいちトリエンナーレ実行委員会
- (5) 芸術監督
港 千尋
(写真家・著述家/多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授 (映像人類学))
(2007 年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館コミッショナー)
- (6) 主な展開
 - ア 現代美術
・最先端の現代美術を紹介する国際展
 - イ 舞台芸術
・最先端のダンス、演劇、音楽を上演
・斬新な演出によるプロデュースオペラを上演
 - ウ 普及・教育
・講座、ワークショップ及び学校向け
団体鑑賞プログラム等



◇第 3 1 回国民文化祭・あいち 2016 の開催概要

- (1) テーマ
愛故知新～伝統を「愛」しみ、新しきを「知」り、文化は動く～
- (2) 開催期間
平成 28 年 10 月 29 日から 12 月 3 日 (36 日間)
- (3) 主 催
文化庁、愛知県、第 3 1 回国民文化祭愛知県実行委員会
市町村、市町村国民文化祭実行委員会、文化団体 等
- (4) 事業構成
 - ア 主催事業
 - (ア) 総合フェスティバル
・開会式 式典及びオープニングフェスティバル
・閉会式 式典及びフィナーレステージ
 - (イ) 分野別フェスティバル
文化庁事業、県実行委員会事業、市町村等事業
 - イ 協賛等事業



◇第 1 6 回全国障害者芸術・文化祭の開催概要

- (1) 名 称
第 1 6 回全国障害者芸術・文化祭あいち大会
- (2) 主 催
厚生労働省、愛知県、名古屋市
- (3) 開催時期
平成 2 8 年 12 月 9 日 (金)～11 日 (日)
- (4) 主な展開
 - ア 芸術・文化祭
・美術・文芸などの展示作品、音楽・ダンスなどの舞台作品
 - イ ふれあい交流
・授産製品展示販売や福祉機器の紹介、講演会等の開催

